

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし
- ③処理水タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置(RO方式)による処理により、処理後の淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ④5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりF・Hエリアタンク貯蔵量は変動あり

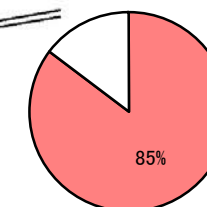
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約14,000m ³	OP.2.661
2号機	約22,900m ³	OP.3.180
3号機	約23,600m ³	OP.3.037
4号機	約17,600m ³	OP.2.946
合計	約78,100m ³	

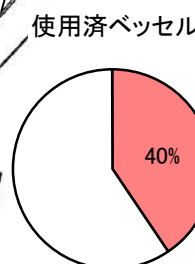
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約15,210m ³	OP.4.297
高温焼却炉建屋	約3,150m ³	OP.2.031
合計	約18,360m ³	

②廃棄物発生量

廃スラッジ

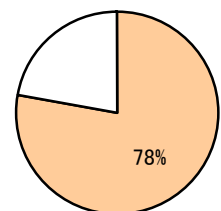


保管量:597/700[m3] ※3



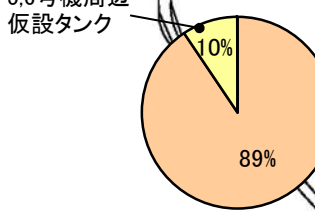
保管量:460/1137体 ※1

F・Hエリアタンク



水量:10815/13900[m3] ※2,3,4

メガフロート

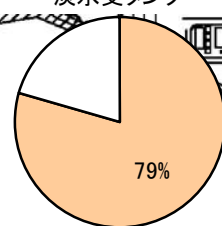


水量:7995/8000[m3] ※2,3,5

④5, 6号機滞留水貯蔵量

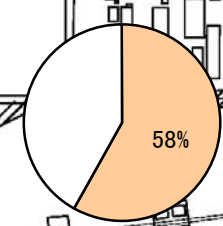
炉注水量(目標値)
1号機:108m³/日
2号機:144m³/日
3号機:144m³/日

RO及び蒸発濃縮装置後
淡水受タンク



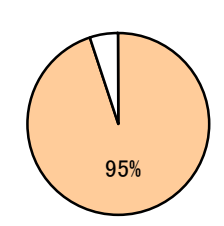
水量:24936/31400[m3] ※2,3

濃縮廃液貯槽



水量:5513/9500[m3] ※2,3

RO後濃縮塩水受タンク



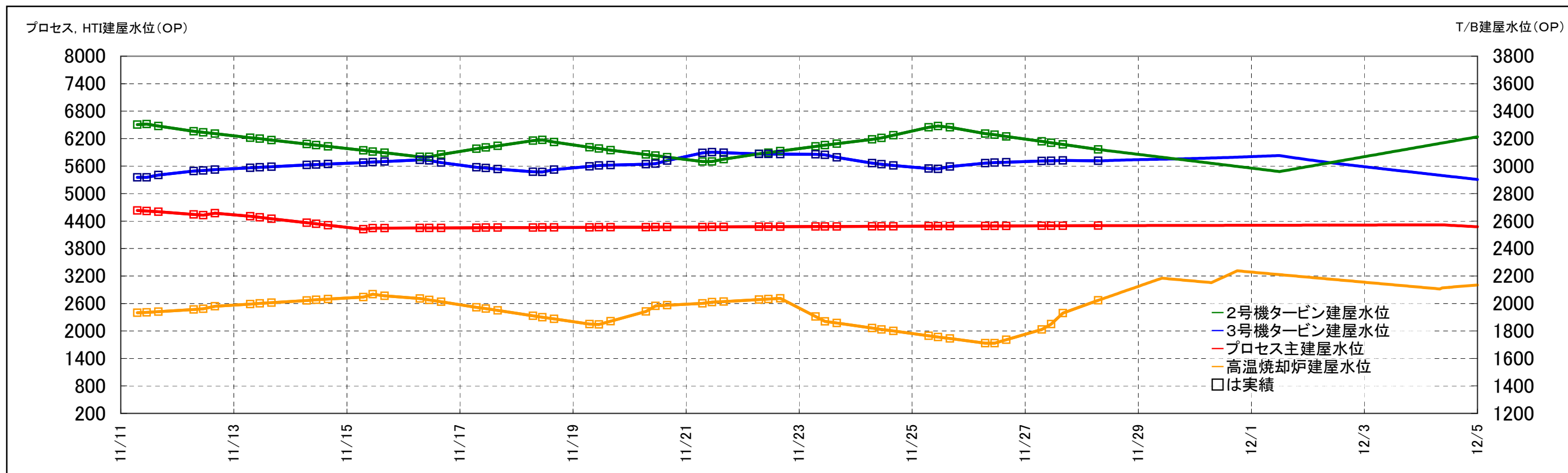
水量:202401/213100[m3] ※2,3

③処理水タンク貯蔵量

- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセルを含む
- ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
- ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す
(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
- ※4 Hエリアの増設タンクのうち、3千トン分を5,6号機滞留水用に使用
- ※5 メガフロートから5,6号機周辺仮設タンク(11月22日~)及び地下貯水槽(11月29日~)へ移送を実施中

中低レベル(既設)
 中低レベル(追設予定)
 高レベル(既設)
 高レベル(追設予定)
 移送ホース布設ルート
 淡水注水ルート

2, 3号機タービン建屋及びプロセス主建屋, 高温焼却炉建屋の水位グラフ



処理装置の稼働状況

